

普及項目	漁場環境
漁業種類等	養殖業
対象魚類	魚類
対象海域	八代海

有害赤潮に関する取組み（赤潮勉強会の開催）

天草広域本部水産課・郡司掛 博昭・中根 基行

【背景・目的・目標（指標）】

八代海では、有害赤潮による魚類養殖業への被害が継続して発生しており、被害軽減に向けた関係者間の情報共有及び連携強化が重要となっている。このため、令和7年度（2025年度）は、赤潮対策に係る現状や課題を共有し、被害軽減に向けた取組みを推進することを目的に、魚類養殖業者、漁業協同組合、研究機関及び行政等の産学官の関係者が一堂に会する赤潮対策勉強会を開催することとした。

また、赤潮発生時における効率的な駆除剤散布及び赤潮モニタリングの実施を支援するため、各地区の駆除剤散布に立会い、現地での助言及び指導を行った。

【普及の内容・特徴】

令和7年（2025年）5月から11月にかけて、計3回の赤潮対策勉強会を開催した。各回には、魚類養殖業者3名から7名を含む約20名が出席し、赤潮生物の生態、発生状況、被害防止対策及び駆除剤散布に係る知見等について情報共有を行った。

また、4月に牛深地区で発生したヘテロシグマ アカシオ、7月に楠浦地区で発生したカレニア ミキモトイ、8月から9月にかけて楠浦、樋島、嵐口及び大道地区で発生したシャットネラ属の有害赤潮に対し、当課の普及員が駆除剤散布に立会った。

【成果・活用】

勉強会の開催により、関係者間で赤潮生物の発生予察や赤潮対策に関する現状、課題及び取組みに関する共通認識を図った。特に、赤潮駆除に関する知見や現場での対応方法を周知することで、魚類養殖業者の赤潮対策に対する理解促進に繋がった。

また、当課からは、新たな赤潮駆除剤の散布方法に関する知見を紹介するなど、養殖業者が赤潮の発生メカニズム、被害防止策及び支援事業等を含めた総合的な知識を習得する機会となった。

駆除剤散布の立会では、養殖業者やその従業員に対し、顕微鏡やピペットの操作方法、赤潮駆除剤の散布方法の指導等を行い、駆除剤散布や有害赤潮モニタリングに関する技術や知識向上に繋がった。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1 赤潮対策勉強会（第 1 回）



図 2 赤潮対策勉強会（第 3 回）



図 3 顕微鏡操作の指導



図 4 駆除剤の効果に関する検討



図 5 駆除剤散布の状況



図 6 駆除剤散布後の確認